

防雪柵や歩道等の整備促進求め現地調査

県道新井柿崎線整備促進議員連盟による現地調査が4日、行われました。猛暑ではありましたが、議員連盟のメンバー12人、顧問の県議5人が参加しました。

県道新井柿崎線は上越市を縦貫する重要路線です。しかし、狭あいな区間が多く、吹雪に弱い、歩道整備が進んでいないなどの問題を抱えています。

この日は、住民から改善、整備要望の出ている13箇所のうち、7箇所を見て回りました。現地では、議員連盟の議員が要望を具体的に語り、新潟県上越地域振興局地域整備部の道路関係課長が県の対応等について説明しました。

この中で、板倉区熊川地内の側溝設置については、「今年度中には着手し、何

年かに分けて工事を進める」ことが明らかにされました。吉川区長峰～柿崎区江島新田地内の防雪柵については、「今年度に200柵ほど工事を行い、順調にいけば来年度で終わる」見通しだということです。この区間が終わると、今後、頸城区や三和区などでの防雪柵設置工事を「北の方から順に進めていきたい」という説明でした。青野から頸城区森本橋までの道路拡幅については、「柿崎方面に向けて600柵、測量と設計をやっている。来年度以降、用地買収、工事へと進めていく」とのことです。

議員連盟では、この日の調査に基づき、県への要望を整理し、今秋には県土木部長交渉を行うことにしています。



だいたい「このキョウダイの作品を観てく
ださい」と言われたのは、小学生の書と読書
感想文です。このうち読書感想文の「悲しい
『引き算』」と「にどともどれないひこう」
は、まだ小さな子どもが初めて戦争のことを
知り、切ない気持ちになったことを綴ったも
のです。子どもの感受性の豊かさの本を薦め
たご両親の平和への姿勢を感じました。
私は短歌や俳句はまったく作らないので
が、同展では、読んだだけで作者の思いが伝
わってくるものがいくつもありません。

「光徳寺作品
展」は16日ま
です。午後1
時30分から5
時までですが、
8日は午前10
時から午後5時
まで、13日
15日は午前10
時から午後7時
までとなっております。
ぜひお出
かけください。



光徳寺作品展、今年の出展者は90人超える

1日の午後、柿崎区直海浜の光徳寺で開催
されている「光徳寺作品展」を観てきまし
た。同作品展は今回で12回目。新型コロナ対
策をしながらの開催となりました。出展者が
開催中も増え続ける同展、今回は90人を超え
そうだとのことです。すごいですね。
本堂の作品を観始めたところで、案内をし
てくださったのはMさんです。おばあちゃん
の着物を再利用して作ったというMさんの上
着は涼しそう、しかもSさんの「さをり織
り」作品と見事にコラボしていました。まさ
に「動く作品」という感じでしたね。
Mさんが「このキョウダイの作品を観てく
ださい」と言われたのは、小学生の書と読書
感想文です。このうち読書感想文の「悲しい
『引き算』」と「にどともどれないひこう」
は、まだ小さな子どもが初めて戦争のことを
知り、切ない気持ちになったことを綴ったも
のです。子どもの感受性の豊かさの本を薦め
たご両親の平和への姿勢を感じました。

思いきやそうではありませんでした。運転手
さんと車中でお連れ合いとの思い出を語り、
二人で歩いた道をたどるなかで幸福感にひ
たっておられたのです。
Tさん作の短歌、「名も知らぬ小さき花に
立ち止まり差し延べし手に紅葉舞いちらる」。
この歌も目に留まりました。引き付けられた
のは「小さな花」と言う言葉です。紅葉が舞
い散る時期の咲く小さな花とは何でしょう
ね。センブリならご存じのはず、ならば、ア
キノキノソウでしょうか。
この他、上教大教員の子どものさんが製作し
たというギター、十日町市松代の「絵本と木
の美術館」にある流木作品に影響を受けて
制作したというYさんの「愛叶う」という作
品など私の心を揺さぶる作品がいくつもあり
ました。

「しんぶん赤旗」日曜版
は8日号と15日号は合
併号です。活動レポート
の次号は22日に発行し
ます。よろしくお願ひし
ます。



【ヒシ】ミソハギ科の1
年草の水草。漢字で書く
と、「菱」です。葉は菱
形で、池の水面に放射状
に広がります。花期は7
月～10月で、白い花を
咲かせます。花が終わっ
て実ったものは食用にな
ります。子どもの頃、よく
食べました。花言葉は
「夢のような出来事」
「秘めた思い」。写真は
吉川区小苗代にて撮影。

はしづめ法一の
活動レポート

No.2023 2021.8.8
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第六七〇回

ドテッポポ

「ご住職に誘われ、北側の庭園が見える光徳寺の奥の部屋でお茶をいただいているときのことでした。ドテッポポという鳴き声を聞いたのは……」

いままで何度もおじゃましているのに、野バトの鳴き声ははつきりと、しかも近いところから聞こえたのは今回が初めてでした。私が「ハトの鳴き声が聞こえますね」と言ったとき、一緒にお茶を飲んでいたご住職、Mさん、Tさんもほとんど同時に気づかれていたようです。

その後、ドテッポポの鳴き声が聞こえるたびにスマホに録音しようとしたのですが、不思議なことに、スマホを構えると鳴きやみます。ようやく録音できたのは五回目くらいでした。誰かに「ほら、また鳴いていますよ」と言われ、スマホをその方向に向けたら、何とか間に合いました。

私が「この鳴き声はきつとメスを求める鳴き声ですよ」と言うと、みなさんは信じられない様子でした。それで改めて、スマホを使って調べてみると、間違いありませんでした。求愛の鳴き声だったのです。野バトのことが話題になったところで、Mさんが思い出を話してくださいました。

はるか昔、数十年前のことです。Mさんは伝書鳩を飼っていたそうです。伝書鳩は自宅から遠く離れた場所で放しても必ず自分が寝泊まりしている場所に戻ってくることは私も聞いていました。でも、「たまによそのハトも連れてくることもあった」というMさんの話にびっくりしました。Mさんは、ハトは自分のパートナーを守るために、よそのハトが入れないエリアを決めているという話も教えてくれました。

そうこうしているうちに、外の高いところにいた野バトが庭に舞い降りてきました。普段からよく観察されているのでしょうね、ご住職は「池の水を飲みたがって来るとは」と言われました。野バトは私

たちに気づいていなかったのか、それとも人間慣れしているのか、私たちがいた部屋から数メートルのところまで堂々と歩いていました。野バトでも、こういうことがあるんですね。

このとき、池には、一匹だけでしたが、チョウトンボもいました。私から、「きょうの春よ来い」にも書いたチョウトンボです。トンボなのにチョウトンボと言うんです。おもしろいでしょ」と言いました。このチョウトンボは池の中の水草の葉や池のまわりにある石に止まって、青紫色の羽根を広げたり、閉じたりしていました。翅（はね）がキラキラ光ると、誰かが「きれいだね」と言いました。

この日は、今年度の「光徳寺作品展」の初日でした。一緒にお茶を飲んだ四人は、ドテッポポの鳴き声をきっかけに、ハトの求愛行動のことから人間の男女の心理、さらには展示されている作品や制作者のことまで話題をどんどん広げていきました。

四人の中の一人、Mさんは、今年も「万羽鶴」を出展されました。毎朝七時半頃から新聞折り込みの広告チラシを使って折り鶴をされているとか。その地道な積み重ねが一万个の折り鶴になったんですね。

カゴなどのクラフト作品を三年前に初めて出したHさんのことも話題となりました。要介護のお連れ合いをずっと支えてきた女性です。失礼ながら、自分のやりたいことをずっと我慢し、こういう作品づくりとは無縁の人かと思っていました。でも、そうではありませんでした。自分の能力を発揮する場を見つけ、いまでは作品づくりの指導をするほどの力をつけておられたのです。なぜか、つれづれの事でした。

この日は、家に帰っても、光徳寺での喜びの余韻が残っていました。そして、家でも聞こえてきたのです、ドテッポポ、ドテッポポの鳴き声……。

どう考える！新型コロナパンデミック下の菅政権

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月28日(水)	8月4日(水)
上越南消防署	0.053	0.057
上越北消防署	0.047	0.043
新井消防署	0.053	0.057
頸北消防署	0.050	0.047
頸南消防署	0.060	0.057
東頸消防署	0.053	0.050
名立分遣所	0.067	0.053
高士分遣所	0.056	0.047

「どう考える！新型コロナパンデミック下の菅政権」の市民連合・上越主催のシンポジウムが7月31日、行われました。

今回のシンポは新型コロナの問題の解決の展望を見出そうというのが開催の趣旨。梅谷守衆院新潟6区予定候補が基調報告を行い、高田世界館の仕事をしているKさん、看護師のMさんとSさんが現場からの報告を行いました。また、学生のKさん、居酒屋経営のIさんが文書で発言しました。

現場からの報告では、「陽性患者が出るなど新型コロナの節目節目で観客の減が著しくなった。コロナが収まってから、映画はスマホで観るようにならないか心配だ」「地域医療構想は新型コロナ前のもので進めようとしている。見直し案自体を見直してもらわないと困る」「医療関係のスタッフが減っている。助手、事務の人がいなくなって、すべて看護師の負担になっている」「持続化給付金の申請はしていない。売上50%減少の壁が大きい。店では家



賃、光熱費、給料を検出するために売上をアップさせるために全力をあげている」「友人は毎月のアルバイト代は以前の半分に。生活費ともなるアルバイト代の激減で、新しいことにチャレンジする機会も交流を深める場も、すべて手離さなければ生きていけないと言っていた」などリアルなものばかりでした。

報告を聴いて、市民のみなさんの困難、悩みなどについては、まだまだ知らないことが多いと感じました。しっかり調べて、議員活動もレベルアップをはかりたいと思います。